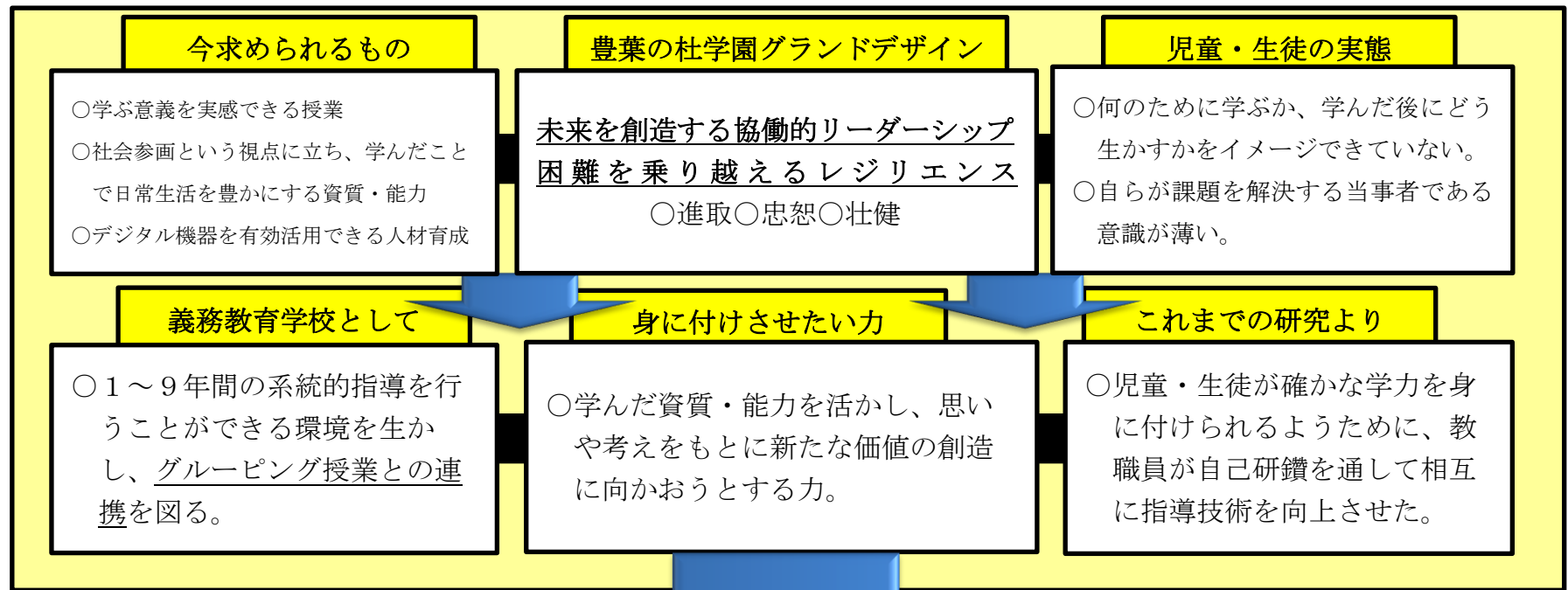


研究構想図



研究主題

共に生きる社会を創る児童・生徒の育成
—学習の基盤となる資質・能力を育成する指導と評価の工夫—

目指す子ども像

課題を見付け、情報を活用し、自分の考えをもつ子ども

研究の視点

～学習の基盤となる3つの資質・能力と学びを実感する振り返り～			
①言語能力 教科書を含む多様なテキスト及びグラフや図表の各種資料を適切に読み取る力。判断の根拠や理由を明確にしながら論文やレポートのような形式で課題を分析し、論理だてて主張をまとめる力。	②問題解決能力 各教科等において物事の中から問題を見出し、その問題を定義し解決の方向性を決定する力。解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返りを通して次の問題発見・解決につなげていく力。	③情報活用能力 グローバル化・デジタル化の社会において、コンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を比較・整理したりする力。また、情報を分かりやすく伝達し、必要に応じて保存・共有する力。デジタル機器の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラルやセキュリティ、統計等に関する資質・能力も含む。	④学びを実感する振り返り 本時で何を学ぶかを学習前に児童・生徒が理解し、目標をどの程度達成したかを児童・生徒が把握できる振り返りを実施する。また、主体性に関しても、評価の基準を言語化して評価を取っていく。